

単年度の収支はほぼ均衡

令和6年度決算



問 財政課 (☎ 53-4486)

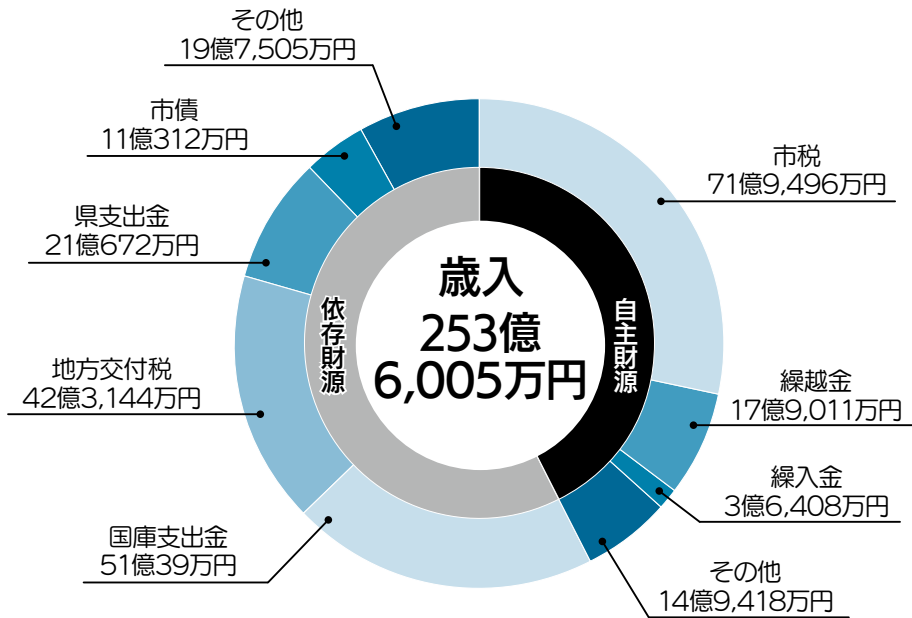
市の一般会計決算における歳入歳出差引は18億4,414万円、翌年度への繰越財源を除く実質収支は17億745万円となりました。この実質収支には、令和5年度までの繰越金が含まれているため、この影響を除いた令和6年度の収支は約4,300万円で、ほぼ均衡しています。



歳入

前年度比6.3%減となりました。再編新設小学校整備事業がピークを超えたため、国庫支出金は前年度比10.3%減、市債は前年度比66.2%減となりました。

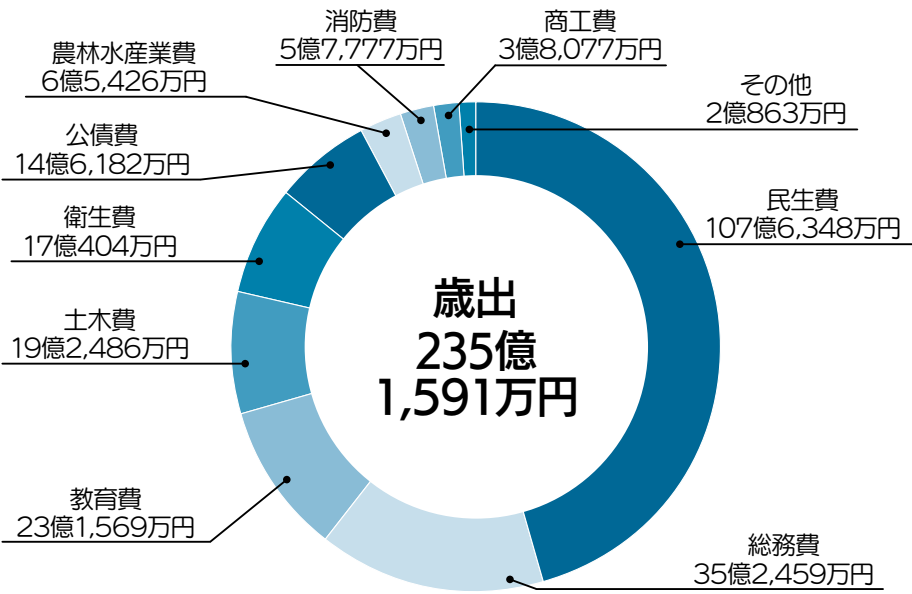
一方で、市税は前年度比4.6%増と過去最高額になりました。また、定額減税による減収補填のための特例交付金により、地方特例交付金は前年度比325.5%増加しています。



歳出

前年度比7.0%減となりました。再編新設小学校整備事業費の減少などにより、普通建設事業費が前年度比60.3%減少しました。

一方で、市庁舎建設に向けた庁舎建設基金への積み立てなどにより、積立金が前年度比115.2%増加したほか、定額減税補足給付事業などによって補助費などが前年度比17.6%増加しています。



令和6年度に行った主な事業

人口減少・少子高齢化への対応

- 子ども医療事業 2億3,156万円
- 再編新設小学校整備事業 5億4,733万円



防災・減災対策の強化

- 都市構造再編集集中支援事業 1億9,507万円
- 水路改良事業 7,654万円



市民1人当たりの支出額 48万191円

(令和7年3月末日住民登録人口=4万8,972人)

◆目的別の支出額 (1人当たりの額)

費目 (目的)	決算額	費目 (目的)	決算額
民生費 (障害者や児童の福祉などに)	21万9,789円	農林水産業費 (農業などの振興に)	1万3,360円
総務費 (行政運営などに)	7万1,972円	消防費 (消防や救急に)	1万1,798円
教育費 (学校教育や社会教育に)	4万7,286円	商工費 (商工業や観光の振興に)	7,775円
土木費 (道路や河川の整備に)	3万9,305円	議会費 (市議会運営に)	3,659円
衛生費 (ごみ処理や病気予防に)	3万4,796円	労働費 (労働政策に)	378円
公債費 (借金の返済に)	2万9,850円	災害復旧費 (災害からの復旧に)	223円

基金と市債の残高の推移 (令和7年3月末日現在)

◆基金残高

庁舎建設に備えた庁舎建設基金の積み立てなどにより、前年度比9億円の増加となりました。令和6年度は新たに「こども未来基金」を設立し、1千万円を積み立てています。この基金は、子どもの成長を支える環境づくりや子ども・子育て施策のための財源として、令和7年度以降活用していきます。

◆市債残高

令和6年度に11億円の市債を発行した一方、13.7億円を償還したことで、前年度比2.7億円の減少となりました (右図参照)。

